

# 高校公民プリント（過去問類似）

## 源流思想と宗教 No.6

名前

得点

/10

**問1** イスラームにおいて、唯一神（アッラー）から預言者ムハンマドに下された、神の言葉そのものとされる最後の啓示を記録した聖典は何か。この聖典の中では、信者が死後に赴く楽園の様子が、現世の物質的な快樂から想像しやすい具体的な形で描写されており、来世での救済が示されている。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. タウラート                      2. クルアーン                      3. ハディース                      4. インジール

**問2** 紀元前6世紀頃のインドにおいて、バラモン教の権威や祭祀を否定し、徹底した不殺生や厳しい苦行・禁欲を実践することによって魂の浄化と解脱を目指す宗教が興った。この宗教の創始者であり、マハーヴィーラ（大雄）の尊称でも知られる人物は誰か。 （2008年 全国公立入試 類似）

1. ヴァルダマーナ                      2. ボーディダルマ                      3. ナーガールジュナ                      4. ヴァスバンドゥ

**問3** 儒家が主張する仁や義などの道徳を人為的な偽りであると批判し、作為を排して宇宙の根本原理であるありのままのあり方に従うことで、真の生き方が得られるとする、道家の祖とされる思想家が提示した根本的な生き方の態度を何というか。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. 王道政治                      2. 兼愛非攻                      3. 無為自然                      4. 合従連衡

**問4** 古代中国の思想家である孔子は、人間関係の基本として様々な徳目を提示した。そのうち、「己の欲せざる所、人に施すこと勿れ」という言葉に代表される、他者に対する思いやりの道徳的態度を何と呼ぶか。 （2009年 全国公立入試 類似）

1. 礼                      2. 義                      3. 仁                      4. 恕

**問5** すべての生きとし生けるものの救済を目指す仏教の潮流において、自己の悟りを開くだけでなく、布施などの修行を通じて他者の救済（利他）に尽くす、理想的な修行者像を何というか。 （2023年 全国公立入試 類似）

1. 如来                      2. 菩薩                      3. 羅漢                      4. 声聞

**問6** 古代ギリシアの哲学者であり、国家の支配階級には「知恵」、防衛階級には「勇気」、生産者階級には「節制」の徳が必要であり、これらが調和した国家に「正義」が実現されると説いた人物は誰か。 （2015年 全国公立入試 類似）

1. プラトン                      2. ゼノン                      3. タレス                      4. ピュロン

**問7** アリストテレスは、師であるプラトンの思想を批判し、事物を構成する要素として、素材となるものと、その素材が実現すべき本質・設計図に当たるものがあると考えた。このうち、事物の本質や目的を指し、個々の事物に内在しているとされる概念を何というか。 （2024年 全国公立入試 類似）

1. 観照                      2. 中庸                      3. 質料                      4. 形相

**問8** 7世紀初めにアラビア半島で新しい宗教を創始し、唯一神の前での信徒の絶対的平等を説いて、従来の部族対立や階級差を超えた信徒共同体（ウンマ）の形成を導いた人物は誰か。 （2014年 全国公立入試 類似）

1. ムハンマド                      2. ナーナク                      3. ゾロアスター                      4. カルヴァン

**問9** キリスト教において、イエスによる新しい神との約束に対して、それ以前のモーセの律法などに代表される古い約束を意味する言葉と呼ばれ、他宗教の聖典でもある書物の、キリスト教における呼称として最も適当なものを答えよ。 （2022年 全国公立入試 類似）

1. 旧約聖書                      2. 死海文書                      3. 使徒行伝                      4. 新約聖書

**問10** 万物の根源である普遍的な法則を人間の本性（天理）とみなす思想において、気質の濁りから生じる私欲を克服し、本来の善なる本性を発現させるために、自己の心を慎んで厳かに保ち、個々の事物の理を極めていくことを何と呼ぶか。 （2012年 全国公立入試 類似）

1. 居敬窮理                      2. 格物致知                      3. 存心持敬                      4. 知行合一

## 答え合わせ・解説 No.6

問1	答え 2 クルアーン	唯一神アッラーが預言者ムハンマドを通じて下した最後の啓示をまとめた聖典はクルアーン（コーラン）である。クルアーンでは、現世での信仰や善行に対する報酬として、来世における楽園の快樂が、美しい庭園や流れる川、豊かな食べ物など、現世の物質的な快樂から類推しやすい具体的なイメージで描かれている。これはムハンマド自身の言行録であるハディースなどとは区別される、神自身の言葉そのものである。
問2	答え 1 ヴァルダマーナ	紀元前6世紀頃のインドでは、都市国家の発展や商工業者の台頭を背景に、従来のバラモン教の祭祀やカースト制度を批判する自由思想家たちが現れた。その中で、ヴァルダマーナはジャイナ教を創始し、徹底した不殺生（アヒンサー）や苦行の実践を通じて、カルマ（業）から魂を解放し解脱することを目指した。なお、仏教の創始者であるガウタマ・シッダールタ（ブッダ）と同時代の人物である。
問3	答え 3 無為自然	儒家が説く仁や義などの道徳を人為的なものとして否定し、作為を捨てて自然のあり方に身を委ねる生き方を指す。これは道家の祖とされる思想家によって提唱され、のちの老荘思想の基盤となった。
問4	答え 4 恕	孔子は、人間が社会の中で生きていく上での根本的な道徳として「仁」を重視した。その「仁」を実践する上での具体的な心のあり方として、自分が望まないことを他人に強制しないという他者への思いやりを「恕」と位置づけた。これは『論語』において「一言にして以て終身これを行うべきもの」として挙げられている。
問5	答え 2 菩薩	自らの悟りを求める「自利」と、他者を救済する「利他」を一体のものとして実践する存在である。大乘仏教において、出家・在家を問わず、すべての信者が目指すべき理想像とされた。
問6	答え 1 プラトン	魂の三分説に対応させて国家の階級（支配者・防衛者・生産者）を論じ、それぞれの階級が知恵・勇気・節制の徳を備え、全体として調和（正義）が保たれた「哲人政治」を理想国家として提唱した。
問7	答え 4 形相	アリストテレスは、事物が素材である「質料（ヒュレー）」と、その本質・形である「形相（エイドス）」の結合によって成り立つと考えた。プラトンのアイデアが現実から離れて存在するのに対し、形相は個々の事物の中に存在し、その事物が目指す目的や本質を示す。
問8	答え 1 ムハンマド	7世紀初めにメッカで神の啓示を受けた人物であり、唯一神アッラーの前での信徒（ムスリム）の平等を説き、イスラーム教を創始した。この教えは、従来の部族社会の身分や血縁を超えて、信徒同士が「兄弟」として連帯する共同体の形成につながった。
問9	答え 1 旧約聖書	キリスト教徒は、イエス・キリストを介した神との新たな合意を「新約」と捉え、それに対してモーセの十戒などに代表される従来の合意を「古い契約」と位置づけた。この歴史的背景から、他宗教の聖典がキリスト教側においてこのように呼称されるようになった。したがって、その宗教の信徒自身が自らの聖典をこの名で呼ぶことはない。
問10	答え 1 居敬窮理	朱子学における実践的な修養方法を指す。心を主宰して私欲に流されないようにする「居敬」と、万物の理を突き詰めていく「窮理」を合わせたものであり、これによって本来の天理を発現させることができるとされた。

高校公民プリント（過去問類似）  
源流思想と宗教 No.7

名前

得点

/11

問1 師であるソクラテスの死をきっかけに、現実の民主政に絶望し、感覚を超えた永遠不変の真理の領域を想定した。そして、現実世界の美しいものに憧れる知的・精神的な衝動を通じて、究極の「美そのもの」を認識することを目指す思想を展開した人物は誰か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. ピタゴラス 2. ソクラテス 3. プラトン 4. エピクロス

問2 中世ヨーロッパにおいて、アリストテレス哲学をキリスト教神学に導入し、信仰と理性の調和を説いた思想家は誰か。彼は、神が宇宙を支配する永遠法と、人間が自らの能力によって認識できる自然法は矛盾せず、調和的に結びついていると考えた。

(2023年 全国公立入試 類似)

1. ピエール・アベラール 2. ロジャー・ベーコン 3. ドゥンス・スコトゥス 4. トマス・アキナス

問3 感覚に惑わされずに魂の目を真理に向けることの重要性を説き、肉体的な感覚から離れて事物の真の姿であるアイデアを探求すべきだとする思想を提唱した、古代ギリシアの哲学者は誰か。 (2023年 全国公立入試 類似)

1. ピュロン 2. プラトン 3. フィロン 4. クリトン

問4 宋代に興った新しい儒学において、万物は宇宙の根本原理である「理」と、それを形づくる物質的な素材である「気」から成るとする理気二元論を大成した人物は誰か。彼は、人間には天理そのものである「本然の性」と、肉体や感情に左右される「氣質の性」があると説き、心を厳かに保ちつつ万物の理を極めることで私欲を克服する修養法を提唱した。 (2023年 全国公立入試 類似)

1. 孟子 2. 荀子 3. 朱熹 4. 程頤

問5 春秋戦国時代の諸子百家の一派で、儒家が説く家族愛などの差別的な愛を批判し、自他を区別せずにすべての人を平等に愛し、互いに利益をもたらさ合うべきであると主張した思想家は誰か。 (2012年 全国公立入試 類似)

1. 墨子 2. 莊子 3. 老子 4. 孟子

問6 7世紀初めにアラビア半島で新しい宗教を創始し、唯一神の前での信徒の絶対的平等を説いて、従来の部族対立や階級差を超えた信徒共同体（ウンマ）の形成を導いた人物は誰か。 (2014年 全国公立入試 類似)

1. ムハンマド 2. ナーナク 3. ゾロアスター 4. カルヴァン

問7 初期キリスト教において、新プラトン主義などのギリシア哲学を援用して教義を体系化し、キリスト教神学の基礎を築いた最大の教父は誰か。著書『告白』や『神の国』で知られ、人間の原罪と神の恩寵の必要性を説いた。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. ヒエロニムス 2. テルトゥリアヌス 3. アンブロシウス 4. アウグスティヌス

問8 ヘレニズム時代に登場したある哲学の学派は、魂の平安を乱す原因となる政治活動や公的生活から退き、親しい友人と静かに暮らすことを理想とした。この学派の名称として最も適当なものを答えよ。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. ピュロン派 2. ストア派 3. エピクロス派 4. キュニコス派

問9 デルフォイのアポロン神殿に刻まれていた言葉で、ソクラテスが『自らの無知を自覚せよ』という意味に捉え直し、自らの知識や認知の状態を客観的に見つめ直す（メタ認知）ための出発点とした格言は何か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 万物は数である 2. 万物は火である 3. 汝自身を知れ 4. 万物は水である

問10 イスラームにおいて、信徒が日常生活で実践すべき最も基本的な義務の第一とされるもので、「アッラーのほかに神はなく、ムハンマドはアッラーの使徒である」と口頭で証言する行為を何というか。 (2023年 全国公立入試 類似)

1. 聖地巡礼 2. 日常礼拝 3. 信仰告白 4. 義務喜捨

問11 固定不変の実体を否定し、すべての事象は単独で存在するのではなく、原因と条件が相互に関わり合って生起するという、初期仏教における根本的な因果関係の法則を何というか。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. 涅槃 2. 無我 3. 四諦 4. 縁起

## 答え合わせ・解説 No.7

問1	答え 3 プラトン	ソクラテスの刑死に衝撃を受けたこの哲学者は、不完全な現実世界（現象界）を超えた、永遠不変の真理の領域であるイデア界を想定した。そして、現実の美しいものへの憧れ（エロース）を媒介として、魂がイデアを想起し、認識へと向かうプロセスを説いた。
問2	答え 4 トマス・アキナス	スコラ学を大成したトマス・アキナスは、信仰と理性の調和を説き、神の法（永遠法）と人間の理性によって捉えられる自然法は矛盾せず、調和的に結びついていると考えた。これにより、キリスト教神学とアリストテレス哲学の統合を試みた。
問3	答え 2 プラトン	ソクラテスの弟子であり、感覚世界を超えた真の実在であるイデアを理性的思考によって捉えるべきだと主張した。感覚的な事象をそのまま受け入れる態度を批判し、魂を肉体的な感覚から切り離して真理を探求することを重視した。
問4	答え 3 朱熹	宋代に理気二元論や性即理の説を大成し、朱子学の祖となったのは朱熹（朱子）である。彼は、人間が本来備えている善なる本性（本然の性）を、肉体や感情に左右される現実のあり方（氣質の性）から解放し発揮させるため、心を厳かに保つ「居敬」と万物の理を極める「窮理」を重視した。
問5	答え 1 墨子	儒家の仁（家族愛などの段階的・差別的な愛）を「別愛」として批判し、自他を区別しない無差別の愛である「兼愛」と、互いに利益を融通し合う「交利」を説いたのは墨子である。彼はまた、戦争を否定する「非攻」や、正義を望む天の意志に従うことを主張した。
問6	答え 1 ムハンマド	7世紀初めにメッカで神の啓示を受けた人物であり、唯一神アッラーの前での信徒（ムスリム）の平等を説き、イスラーム教を創始した。この教えは、従来の部族社会の身分や血縁を超えて、信徒同士が「兄弟」として連帯する共同体の形成につながった。
問7	答え 4 アウグスティヌス	アウグスティヌスは、4～5世紀に活躍した初期キリスト教最大の教父である。彼はプラトン哲学（特に新プラトン主義）の影響を受けながら、キリスト教の教義を理論的に整備し、神学の基礎を確立した。著書『告白』では自身の回心に至る歩みを綴り、『神の国』では歴史を「神の国」と「地上の国」の対立・相克として捉える歴史観を提示した。
問8	答え 3 エピクロス派	ヘレニズム時代には、ポリスの崩壊に伴い個人の内面的な生き方が模索された。その中で、快楽を最高善とし、精神的な苦痛のない平穏な状態を目指したのがエピクロス派である。彼らは、政治や公共生活に関わることが心の平穏をかき乱すと考え、公的な場から退いて親しい仲間と「隠れて生きよ」という信条のもとで静かに暮らすことを推奨した。
問9	答え 3 汝自身を知れ	ソクラテスは、デルフォイの神殿に刻まれたこの言葉を、単なる神への謙遜ではなく、自らの無知を自覚し、客観的に自己の知識の状態を見つめ直す（メタ認知）ための出発点として位置づけた。これは、自分の前提や偏見を疑い、論理的に検討し直す批判的思考の基礎となる。
問10	答え 3 信仰告白	イスラームの信徒（ムスリム）が果たすべき実践的な義務は五行と呼ばれる。その第一に位置づけられるのが信仰告白（シャハーダ）であり、アッラーが唯一絶対の神（唯一神）であること、そしてムハンマドが神の言葉を伝える最後の使徒（預言者）であることを公に宣言する。イスラームは徹底した一神教であり、アッラー以外のいかなる存在も神と認めず、またムハンマドも神ではなく人間（使徒）であると位置づける。
問11	答え 4 縁起	「これがあるとき、それがある」という相互依存の関係性を示す法則であり、ブッダが悟った世界の真理とされる。すべてのものは移り変わる（諸行無常）という教えの背景となる論理である。

高校公民プリント（過去問類似）  
源流思想と宗教 No.8

名前

得点

/11

問1 大乗仏教の思想家であるナーガールジュナが体系化した思想で、すべての存在は相互に関係し合って成立しており、それ自体で独立して存在する固定的な実体（自性）はないとする考え方を何と呼ぶか。（2012年 全国公立入試 類似）

1. 空 2. 法 3. 業 4. 苦

問2 家族愛を基礎とする内面的な道徳心と、それを社会的な規範として表現する行動の重要性を説き、自己に誠実であることや他者への思いやりを通じて、社会の秩序を回復しようとした、儒教の創始者は誰か。（2016年 全国公立入試 類似）

1. 孟子 2. 墨子 3. 荘子 4. 孔子

問3 師であるソクラテスの死をきっかけに、現実の民主政に絶望し、感覚を超えた永遠不変の真理の領域を想定した。そして、現実世界の美しいものに憧れる知的・精神的な衝動を通じて、究極の「美そのもの」を認識することを目指す思想を展開した人物は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ピタゴラス 2. ソクラテス 3. プラトン 4. エピクロス

問4 ユダヤ教の形式的な律法主義を批判し、神の絶対愛と隣人愛を説いた人物であり、神の支配や救いを「からし種」の比喩を用いて人々に語り、その到来を「福音」として宣教した人物は誰か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. パウロ 2. ペテロ 3. モーセ 4. イエス

問5 万物に内在する理を宇宙や人間の道徳的規範とし、物質的な気が運動・結合することによって具体的な万物が形成されるという宇宙観を提示し、のちに日本の江戸幕府の官学としても重んじられた儒学の一派を大成した人物は誰か。（2019年 全国公立入試 類似）

1. 張載 2. 朱熹 3. 程頤 4. 程顥

問6 古代インドのジャイナ教や仏教などで重んじられ、のちにガンディーがイギリスの植民地支配に対する抵抗運動を指導するにあたり、その思想的根拠とした「不殺生」や「非暴力」を意味するサンスクリット語の概念は何か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. ブラフマン 2. モークシャ 3. アートマン 4. アヒンサー

問7 孔子が仁や礼に基づく道徳的な秩序を重視したのに対し、その教えを人間による作為的なものとして批判し、万物を生み育てる天地自然のありのままの根源に従って、作為を排して生きることを説いた思想を何というか。（2011年 全国公立入試 類似）

1. 信賞必罰 2. 兼愛非攻 3. 無為自然 4. 王道政治

問8 仏教において、快樂と苦行の両極端を避けた実践的な修行法のうち、殺生や盗みなどの悪しき行為を避け、規律にかなった正しい行動をとることを指す徳目を何というか。（2018年 全国公立入試 類似）

1. 正命 2. 正見 3. 正業 4. 正語

問9 中国の春秋戦国時代において、儒家が説くような人為的な道徳や社会制度は、かえって人間の欲望を刺激して社会の混乱を招く原因になると批判した。そして、作為を捨てて自然の理に身を任せる生き方や、素朴な社会である「小国寡民」を理想とした思想家は誰か。（2012年 全国公立入試 類似）

1. 墨子 2. 孟子 3. 老子 4. 荘子

問10 シナイ山において神から「隣人の家を欲してはならない」などの戒律を授かり、出エジプトを率いてヘブライ人を導いた、旧約聖書に登場する預言者は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. モーセ 2. イザヤ 3. ホセア 4. アモス

問11 古代ギリシアの民主政下では、民会や裁判の場で自らの主張を通すための技術が求められた。このような社会的背景から登場し、市民に対して弁論の技術を教えた職業教師たちを何と呼ぶか。彼らは客観的な真理の探究よりも、言葉を駆使して聴衆を説得し、自説を有利に進めることを重視した。（2024年 全国公立入試 類似）

1. ソクラテス 2. ソフィスト 3. エピクロス 4. ピタゴラス

## 答え合わせ・解説 No.8

問1	答え 1 空	ナーガールジュナ（竜樹）は、万物は互いに依存し合って存在しており（縁起）、それ自体で固定的な実体をもたないことを「空」と表現し、大乘仏教の理論的支柱とした。これは、何も無いという虚無主義ではなく、固定的な実体への執着を捨てることを促すものである。
問2	答え 4 孔子	乱れた社会秩序を回復するため、身近な家族愛（孝悌）を基礎とする「仁」と、それを社会的な規範として表した「礼」の双方を重視し、これらを体得した「君子」となることを目指した思想家は、儒教の祖である。
問3	答え 3 プラトン	ソクラテスの刑死に衝撃を受けたこの哲学者は、不完全な現実世界（現象界）を超えた、永遠不変の真理の領域であるイデア界を想定した。そして、現実の美しいものへの憧れ（エロース）を媒介として、魂がイデアを想起し、認識へと向かうプロセスを説いた。
問4	答え 4 イエス	イエスは、神の支配や救いを意味する「神の国」を、身近な植物である「からし種」に例えて人々に説いた。これは、神の国が最初は目立たない小さな始まりであっても、やがて大きく成長し、多くの人々を包み込む救いとなることを示している。彼はこの教えを「福音（喜ばしい知らせ）」として宣教し、形式化した律法主義を批判した。
問5	答え 2 朱熹	宋代の儒学者である朱熹（朱子）は、万物の根源的な規範である「理」と、物質的な素材である「気」によって宇宙や人間が構成されているとする理気二元論を唱え、朱子学を大成した。この学問は、のちに日本の江戸幕府において、上下の秩序を重んじる官学（幕府公認の学問）として採用され、政治的・社会的な安定を支える役割を果たした。
問6	答え 4 アヒンサー	ガンディーは、ジャイナ教などの影響を強く受けたインド伝統の「不殺生・非暴力」を意味する概念を、単なる消極的な不殺生にとどめず、悪に対する積極的な愛と真理の力（サティヤグラハ）として捉え直し、イギリスの植民地支配に対する非暴力・不服従運動の指導原理としました。
問7	答え 3 無為自然	孔子は、家族愛を基礎とする「仁」や社会規範である「礼」といった道徳的な秩序を重視した。これに対して老子は、こうした儒家の道徳を人間の知恵や欲求による作為的なものとして批判した。老子は、万物を生み育てる天地自然のありのままの根源である「道」に身を任せ、作為を排してあるがままに生きることを理想とした。
問8	答え 3 正業	仏教における中道の実践徳目である八正道は、正見、正思、正語、正業、正命、正精進、正念、正定の8つからなる。このうち、殺生や盗みなどの悪しき身体的行為を慎み、正しい行いをすることを「正業」と呼ぶ。正しいものの見方は「正見」、正しい言葉づかいは「正語」である。
問9	答え 3 老子	儒家が主張する仁や義などの人為的な道徳を批判し、作為を捨てて自然の理に身を任せる「無為自然」を説いた。また、国家の理想像として、国家が小さく人口も少ない「小国寡民」の素朴な社会を提示した。
問10	答え 1 モーセ	モーセは、エジプトで奴隷状態にあったヘブライ人を率いて脱出（出エジプト）し、シナイ山で神から十戒を授かったとされる預言者である。十戒には「隣人の家を欲してはならない」といった、他者の所有物に対する欲望を戒める規定が含まれている。
問11	答え 2 ソフィスト	古代ギリシアのアテネなどで民主政が発達すると、民会や裁判で自らの主張を有利に展開するための技術が必要とされた。これに応じて、弁論術などの知識を謝礼を取って教える職業教師たちが現れた。彼らは客観的な真理を探究することよりも、状況に応じて言葉を駆使し、他者を説得して自説を通すことを重視した。

# 高校公民プリント（過去問類似）

## 源流思想と宗教 No.9

名前

得点

/10

問1 孔子が説いた、自らの私欲に打ち勝って、社会規範である「礼」に立ち返ることを意味する、内面的な人間愛である「仁」を実践するためのあり方を表した四字熟語は何か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 知行合一                      2. 克己復礼                      3. 仁義礼智                      4. 格物致知

問2 感覚が捉える変化や多様性を否定し、論理的思考に基づいて「在るものは在り、在らぬものは在らぬ」と説いた。世界における変化や生成は見かけだけの現象にすぎず、真に存在するものは唯一不変であり、生成も消滅もしないと主張した、南イタリアのエリア出身の古代ギリシア哲学者は誰か。 (2017年 全国公立入試 類似)

1. エンペドクレス                      2. デモクリトス                      3. パルメニデス                      4. ヘラクレイトス

問3 仏教において、人間の生存を構成する物質的・精神的な五つの要素が執着を伴って盛んに活動すること、すなわち、人間の身体と心が活動し続けていること自体が苦の源泉であることを表す、四苦八苦（後者の四苦）の一つとして適切なものは何か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 五蘊盛苦                      2. 怨憎会苦                      3. 生老病死                      4. 愛別離苦

問4 仏教において、自らが行った善悪の行為（業・宿業）が、それに応じた結果（報い）を自らにもたらすという、原因と結果の法則を意味する思想を何というか。 (2012年 全国公立入試 類似)

1. 因果応報                      2. 輪廻転生                      3. 諸行無常                      4. 諸法無我

問5 中国の春秋戦国時代において、家族や身内を優先する儒教の愛を、他者を差別する偏った愛（別愛）であると批判し、自他を区別することなく、すべての人々を等しく愛し、互いに利益をもたらさ合うべきであると主張した思想家が唱えた、無差別の愛を指す思想を何というか。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. 無為                      2. 王道                      3. 非攻                      4. 兼愛

問6 イスラーム教において、現世は来世への準備期間とされ、人間は死後に神の前で自らの生前の行いについて裁きを受けるとされる。この、世界の終末に神が全人類を復活させて裁き、天国か地獄への行き先を決定するという教理上の出来事を何というか。 (2019年 全国公立入試 類似)

1. 最後の審判                      2. 死者の復活                      3. 救世主降臨                      4. 神の国到来

問7 「人間は本性上、ボリス的動物である」と述べた古代ギリシアの哲学者は、共同体の秩序を維持するための徳として正義を重視した。彼は正義を分類し、各人の功績に応じて名誉や財貨を配分する正義や、裁判などを通じて不均衡を是正し公平にする正義などを唱えたが、この哲学者は誰か。 (2009年 全国公立入試 類似)

1. アリストテレス                      2. エンペドクレス                      3. アナクサゴラス                      4. ヘラクレイトス

問8 儒教の祖は、他者への思いやりである内面的な徳と、社会的な規範である外的な行動様式を深く結び付けた。自らの私欲に打ち勝ち、この社会的な規範に従うことを何と呼ぶか。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. 格物致知                      2. 仁義礼智                      3. 克己復礼                      4. 修己治人

問9 古代キリスト教の教父アウグスティヌスが著した自伝的著作で、青年期の放蕩やマニ教への傾倒、新プラトン主義との出会いを経て、神の恩寵によりキリスト教の信仰に目覚めるまでの魂の遍歴と神への感謝を綴った作品の名称を答えよ。 (2012年 全国公立入試 類似)

1. 弁明                      2. 神学                      3. 独白                      4. 告白

問10 新プラトン主義の哲学者プロティノスや使徒パウロの影響を受け、キリスト教神学を大成した古代の思想家がいる。彼は、地上の芸術や自然などの「作られた美」はすべて美の源泉である神に由来するが、人間がその被造物の美そのものに執着することは、真の目的である神への愛から遠ざかる罠になり得ると警告した。この思想家は誰か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. ヒエロニムス                      2. アンブロシウス                      3. アウグスティヌス                      4. テルトゥリアヌス

## 答え合わせ・解説 No.9

問1	<b>答え 2</b> <b>克己復礼</b>	自分のわがままな欲望に打ち勝ち、社会的な規範や儀礼にかなった行動をとることを「克己復礼」と呼ぶ。これは、内面的な愛である「仁」を社会的に実践するための具体的な方法として重視された。
問2	<b>答え 3</b> <b>パルメニデス</b>	エレア派の祖とされるこの哲学者は、感覚が捉える変化や多様性を否定し、理性（ロゴス）による論理的思考を重視した。彼は「在るものは在り、在らぬものは在らぬ」という命題から出発し、真に存在するものは不生不滅・唯一不動のものであると主張した。
問3	<b>答え 1</b> <b>五蘊盛苦</b>	仏教では、根本的な4つの苦しみ（生・老・病・死）に、さらに4つの苦しみを加えた「八苦」を説く。人間の身体と心を構成する物質的・精神的な5つの要素（五蘊）が活発に活動し、それに対する執着が生じること自体が苦の源泉であるとする苦を五蘊盛苦と呼ぶ。これに対し、愛するものと別れる苦しみが愛別離苦、怨み憎む者と出会う苦しみが怨憎会苦、求めるものが得られない苦しみが求不得苦と呼ばれる。
問4	<b>答え 1</b> <b>因果応報</b>	仏教では、すべての現象には原因と結果の関係（因縁）があるとされる。特に個人の行為（業・カルマ）がもたらす運命的な結果について、善い行為には善い結果（善因善果）、悪い行為には悪い結果（悪因悪果）がもたらされるという考え方を指す。これは、自己の行為に対する道徳的責任を自覚させる思想でもある。
問5	<b>答え 4</b> <b>兼愛</b>	儒教が説く家族愛的な「仁」は、身内を優先して他者を差別する偏った愛（別愛）であると批判された。これに対し、自他を区別せずにすべての人々を等しく愛する「兼愛」が唱えられ、社会の利害対立を解消して平和をもたらそうとした。
問6	<b>答え 1</b> <b>最後の審判</b>	イスラーム教やキリスト教などの一神教において、世界の終末に神がすべての死者を復活させ、生前の善悪の行いに基づいて永遠の救済（天国）か破滅（地獄）かを決定する裁きを行うという信仰は、共通して重要な位置を占めている。イスラーム教徒はこの裁きにおいて天国へ入ることを目指し、現世で神の法を遵守して生きる。
問7	<b>答え 1</b> <b>アリストテレス</b>	人間を社会（ポリス）の中で生きる存在として捉え、友愛（フィリア）や正義を重視した万学の祖である。彼は正義の分類において、能力に応じた配分を行う「配分的正義」と、損得の不均衡を正す「調整的正義」を提示し、これらがポリスの秩序維持に不可欠であると考えた。
問8	<b>答え 3</b> <b>克己復礼</b>	儒教の祖である孔子は、内面的な愛や思いやりである「仁」と、それを社会的に表現する客観的な行動規範である「礼」を重視した。自らの私的な欲望を抑え、社会規範である「礼」に立ち返ることを「克己復礼」と呼び、これが「仁」の実践において極めて重要であると説いた。
問9	<b>答え 4</b> <b>告白</b>	アウグスティヌスは、若き日の情欲や異端への迷いから回心に至るまでの精神的苦闘と、神の恩寵による救いを自伝『告白』の中で赤裸々に描き出した。この著作は、自己の内面を深く見つめるキリスト教的自己意識の先駆となった。
問10	<b>答え 3</b> <b>アウグスティヌス</b>	プロティノスの新プラトン主義や使徒パウロの思想を吸収し、キリスト教神学を体系化した教父アウグスティヌスは、著書『告白』などで美と神への愛について論じた。彼は、地上の美しいものはすべて神の美の反映（作られた美）であるが、人間がその被造物の美自体に溺れてしまうことは、美の創造主である神への愛を忘れることにつながると警告した。

高校公民プリント（過去問類似）  
源流思想と宗教 No.10

名前

得点

/11

問1 モーセがシナイ山で神から授かったとされる、ヘブライ人の守るべき基本的な戒律であり、「隣人の家を欲してはならない」など他者の所有物を欲することを戒める規定が含まれている、旧約聖書に記された律法のコア部分を何というか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 契約                                      2. 律法                                      3. 聖書                                      4. 十戒

問2 人間の本性は善であるとし、内面における善の充実こそが美であると考えた。そして、外的な規範や音楽である礼楽を、人間の内なる道徳性に根ざしたものと位置づけ、道徳的実践を重視した中国戦国時代の思想家は誰か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 荘子                                      2. 孟子                                      3. 荀子                                      4. 墨子

問3 ユダヤ教のファリサイ派に属していたが、復活したイエスとの出会いを契機に回心し、異邦人への伝道に生涯を捧げた人物は誰か。彼は、人間は律法の行いではなく、イエス=キリストによる贖罪を信じることによるのみ神から義と認められ救済されるという思想を唱え、キリスト教の世界宗教化に決定的な役割を果たした。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. ヨハネ                                      2. ペテロ                                      3. ルター                                      4. パウロ

問4 古代中国の思想において、儒家が仁や礼といった人為的な道徳を重視したのに対し、そうした作為を否定し、宇宙の根本原理である「道（タオ）」に身をまかせ、あるがままに生きることを理想とした思想を何というか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 無為自然                                      2. 兼愛非攻                                      3. 信賞必罰                                      4. 易姓革命

問5 古代ギリシアの自然哲学者たちは、世界の多様な変化の背後にある、不変で一なる「万物の根源」を探求した。この「根源」や「始原」を指すギリシア語は何か。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. ログス                                      2. ピュシス                                      3. ノモス                                      4. アルケー

問6 儒家の荀子から学び、人間の本性を悪とする見方を受け継ぎながらも、道徳や礼による教化を否定し、君主が「二柄」と呼ばれる褒賞と刑罰の権限を握って客観的なルールにより臣下や人民を統制すべきだと説いた、中国戦国時代の思想家は誰か。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. 公孫竜                                      2. 呂不韋                                      3. 申不害                                      4. 韓非子

問7 万物の根源である「一者」からすべてが流出したとする流出説を唱え、のちのキリスト教神学、特にアウグスティヌスなどの教父哲学に多大な影響を与えた、新プラトン主義の創始者とされる哲学者は誰か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. エピクテトス                                      2. プロタゴラス                                      3. デモクリトス                                      4. プロティノス

問8 イスラーム教において、信仰告白や礼拝などと並び、信徒が果たすべき「五行」と呼ばれる義務の一つであり、富者が貧困層の救済などのために自らの財産の一部を拠出する義務的な施しを、アラビア語で何と呼ぶか。 (2018年 全国公立入試 類似)

1. サウム                                      2. サラート                                      3. ハッジ                                      4. ザカート

問9 イスラームにおいて、聖典である『クルアーン』や預言者ムハンマドの慣行（スンナ）などを法源とし、信仰生活から社会秩序、経済活動における利子の禁止に至るまでを規定する、ムスリムが従うべき法体系を何というか。 (2021年 全国公立入試 類似)

1. ハディース                                      2. ファトワー                                      3. シャリーア                                      4. タウヒード

問10 大乘仏教において、すべての存在には固定的な実体がないという真理を指し、救う自己や救われる対象といった区別への執着を排して、純粹な慈悲を実践するための思想的基盤となった概念は何か。 (2014年 全国公立入試 類似)

1. 空                                      2. 中                                      3. 識                                      4. 有

問11 アテネの民主政期に活動したある思想家は、ソフィストたちの相対主義を批判し、魂（プシュケー）を美しくすることの重要性を説いた。彼は、自分が善美の事柄について何も知らないということに自覚することこそが、真の知恵を愛し求める出発点であると考え、問答法（助産術）を通じて人々にその自覚を促した。この人物は誰か。 (2023年 全国公立入試 類似)

1. ゴルギアス                                      2. ピタゴラス                                      3. ソクラテス                                      4. エピクロス

## 答え合わせ・解説 No.10

問1	答え 4 十戒	旧約聖書に記されている十戒は、モーセが神から授けられたとされる10の戒律であり、偶像崇拜の禁止や殺人の禁止に加え、「隣人の家を欲してはならない」といった他者の所有物や妻を欲することを禁じる欲望の戒めが含まれている。これはユダヤ教およびキリスト教における倫理の根幹をなすものである。
問2	答え 2 孟子	人間の本性を善とする性善説を唱え、四端（惻隱・羞惡・辭讓・是非の心）を育てることで四徳（仁・義・礼・智）を実現できるとした。彼は外的な規範である礼樂も、人間の内なる道徳的本性に由来するものと捉え、武力による霸道政治を退けて徳治による王道政治を主張した。これに対し、人間の本性を悪とし、礼による矯正を重視する性悪説を唱えたのは荀子である。
問3	答え 4 パウロ	パウロは当初、キリスト教徒を迫害する立場にあったが、ダマスコへの途上で復活したイエスの声を聞いて回心した。彼は、人間は律法の遵守という自己の行いによってではなく、キリストの贖罪を信じることによってのみ救われると説き、ユダヤ人以外の異邦人に対しても広く伝道を行った。
問4	答え 1 無為自然	儒家が人為的な道徳（仁・礼）を重視したのに対し、道家はそれを作為（偽）として批判した。道家の祖とされる老子や荘子は、天地自然のありのままのあり方に従う生き方を理想とし、これを無為自然と呼んだ。
問5	答え 4 アルケー	初期の自然哲学者たちは、世界の多様な現象の背後にある一なる根源（アルケー）を理性（ロゴス）によって探求した。タレスはこれを「水」、ヘラクレイトスは「火」、デモクリトスは「原子（アトモス）」とするなど、それぞれの思索に基づいて異なるアルケーを提示した。この探求は、神話（ミュトス）から理性（ロゴス）への知的転換を象徴している。
問6	答え 4 韓非子	荀子の性悪説の影響を受け、人間の利己的な本性を前提として、道徳ではなく客観的な法律（法）と君主の統治技術（術）、権力（勢）による統治を主張した。この思想は秦の始皇帝による天下統一の理論的支柱となった。
問7	答え 4 プロティノス	万物の根源を「一者」とし、そこから万物が段階的にあふれ出たとする「流出説」を唱えたのはプロティノスである。彼はプラトンの思想を継承・発展させ、個々の魂が「一者」と神秘的に合一することを人間の理想とした。この思想は新プラトン主義と呼ばれ、キリスト教の教父たちに強い影響を与えた。
問8	答え 4 ザカート	イスラーム教では、信徒が果たすべき基本的な義務として「五行」が定められている。その中の一つであるザカート（喜捨）は、富裕な信徒が貧しい人々を助けるために、自らの財産から一定割合を拠出する義務的な施しである。これは単なる個人の慈善活動にとどまらず、社会的な相互扶助の仕組みとして制度化されている。
問9	答え 3 シャリーア	イスラームにおける法体系はシャリーア（イスラーム法）と呼ばれる。これは神の啓示である『クルアーン』や、預言者ムハンマドの言行・慣行である「スンナ」などを基礎として体系化されたものであり、信仰のあり方だけでなく、利子の禁止といった経済活動を含む社会生活全般を規律している。
問10	答え 1 空	大乘仏教では、すべての存在は相互に依存して成り立っており、それ自体で固定的に存在する実体はない（これを「空」という）とされる。この真理を体得することにより、救済を行う自己や救済される衆生という対立的な区別への執着から離れ、無条件の慈悲（利他行）を実践することが可能となる。
問11	答え 3 ソクラテス	ソフィストたちが弁論術を教え、真理の相対性を主張したのに対し、普遍的な真理や徳（アレテー）の存在を信じ、対話を通じて魂の配慮を説いた。彼は自らの無知を自覚すること（無知の知）から出発し、真の知恵を愛し求める態度（愛知）を重視した。